

第 2 回農林水産部会の意見交換テーマ

1 農山漁村の活性化について

〔第 1 回専門部会での主な発言〕

- ◇ 中山間地域における特色ある農業の振興
 - ・ 高齢化や担い手の減少が著しい中山間地域では、農地を保全していく体制づくりが必要。
- ◇ 地域資源を生かした多様な農村ビジネスの促進
 - ・ イチジクやソバなどの地域資源を活用した取組を積極的に展開していくことが必要。
- ◇ 新たな兼業スタイルによる定住の促進
 - ・ 関係人口の創出に向け、半農半 X の取組については、課題を検証しながら継続して取り組んでいく必要。
 - ・ 農林水産業の魅力が伝わるようなイベントや子どもの体験学習等が必要。

【ご意見をいただきたい事項】

- 中山間地域の活性化や農地保全の要となる人材の育成や組織づくりに向けた具体的な取組
- 地域資源を生かした特産物のブランド化や多様な農村ビジネスを進めていくための具体的な取組
- 農地保全などの地域の共同活動を継続していくための具体的な取組

2 水産業の持続的な発展について

〔第1回専門部会での主な発言〕

◇ 次代を担う人材の確保・育成

- ・ 新規就業者の確保に向けて、漁業の魅力など積極的な情報発信が必要。

◇ つくり育てる漁業の推進

- ・ 種苗生産・放流による、つくり育てる漁業が推進されているが、親となる魚を獲りすぎないなど、天然資源の管理も重要。

◇ 漁業生産の安定化と水産物のブランド化

- ・ 漁業者の収入安定に向け、神経締めなどの付加価値を付ける取組が、市場価格に反映される仕組みづくりが必要。
- ・ 県民が、県産水産物を県内の小売店等で入手しやすい仕組みづくりが必要。
- ・ 冷凍技術が向上し、外食でも冷凍品の使用が拡大してきていることから、県内での冷凍加工を進めるべき。

【ご意見をいただきたい事項】

- 多様な新規就業者の確保・育成に向けた具体的な取組
- 少量多品種という本県の特徴を生かした販売戦略
- 水産物のブランド化に向けた具体的な取組

3 林業・木材産業の成長産業化について

〔第1回専門部会での主な発言〕

◇ 次世代を担う人材の確保・育成

- ・ 人材確保に向けた裾野を広げるため、子どもや女性が林業に触れる機会を創出し、林業を知ってもらうことが重要。
- ・ 県内の林業事業体は、個人事業主も多いことから、小規模事業体の活性化につながる支援策を充実するべき。

◇ 木材の生産・流通体制の整備と利用の促進

- ・ 木材のバイオマス燃料としての活用が増加が見込まれることから、林業事業体に対する支援が必要。
- ・ 秋田スギのブランド力を生かした売り込みや利用促進を積極的に行うべき。

【ご意見をいただきたい事項】

- 若者や女性など新たな人材の確保・育成に向けた具体的な取組
- 秋田県産材の販路拡大のための具体的な取組
- 森林の有する多面的機能（水源かん養、土砂災害防止、二酸化炭素吸収、生物多様性保全 等）のうち、県民のために最も重要と考える機能は何か。

4 農業の食料供給力の強化について

〔第1回専門部会での主な発言〕

◇ 経営力の高い担い手と新規就農者の確保・育成

- ・ 農業経営においては、農業者自らがコストを意識しながら販売することが重要であることから、その前提となる簿記・会計をフロンティア育成研修の必修科目とするなど、経営管理能力の向上に向けた取組を強化すべき。
- ・ 時代の変化にスピーディーに対応したサポートができるよう、フロンティア育成研修において、民間のオンライン研修の活用などメニューの充実が必要。
- ・ 地域計画の策定及び策定後の計画のブラッシュアップには、担い手だけでなく、地域住民の参画も促すべき。

◇ 持続可能で効率的な生産体制づくり

- ・ あきたこまちRは、出穂期前後3週間の湛水管理が不要となり、長期中干しなど、環境に配慮した取組ができる品種であることを、積極的にPRすべき。
- ・ スマート技術の導入に当たっては、まずは、より実現性が高い土地利用型作物を中心に、実証成果や経営モデル等を積極的に発信し、普及定着を図るべき。

◇ マーケットに対応した複合型生産構造への転換

- ・ 農業人口が減少する中で、人手がかかり、スマート化も難しい園芸品目の大規模拠点については、継続性の確保に十分に配慮することが必要。

◇ 戦略的な米生産と水田のフル活用の推進

- ・ 今後も、猛暑による米の収量・品質の低下が懸念されることから、あきたこまちに代わる高温耐性品種の開発が必要。

◇ 農産物のブランド化と流通・販売体制の整備

- ・ 生産者は、今後はマーケットインの視点で生産したものを再生産できる価格で販売することを意識していくことが重要。
- ・ 生産者と異業種との連携による課題解決に向けた取組が必要。
- ・ 県産の枝豆をはじめとする農産物について、輸送コストの低減や輸出に向け、県内での冷凍などの一次加工を推進すべき。

【ご意見をいただきたい事項】

- 若者や女性就農者の確保・定着に向けた具体的な取組
- 農産物の輸出拡大に向けた具体的な取組